

令和5年度 第2回たつの市行財政改革推進委員会 次第

日時 令和6年2月16日(金)

午後1時30分から

会場 たつの市役所

新館4階 災害対策本部兼大会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 第1回たつの市行財政改革推進委員会委員意見に係る取組状況について

・・・【資料1 (P1～3)】

(2) 令和5年度の行財政改革の取組状況について・・・【資料2 (P4～12)】

(3) 使用料及び手数料の見直しについて

下水道使用料の改定について

4 閉 会

令和5年度 第2回たつの市行財政改革推進委員会 委員名簿

と き：令和6年2月16日（金） 午後1時30分から

と ころ：たつの市役所新館4階 災害対策本部兼大会議室

（敬称略・五十音順）

委員氏名	所属	役職
あほし こうすけ 網干 晃介	たつの市商工会	青年部副部長
かのう けんた 家納 健太	公募委員	
○きた あつこ 喜多 敦子	たつの市教育委員会	教育委員
きみなみ ゆうき 木南 裕樹	たつの市議会	副議長
くわかど りょうしん 桑門 亮心	龍野青年会議所	副理事長
こてら きょうこ 古寺 恭子	女性活躍ネットワーク会議	会員
せがわ とおる 瀬川 徹	龍野商工会議所	監事
◎とくなが こうぞう 徳永 耕造	たつの市連合自治会	会長
なおえ じゅん 直江 純	たつの市記者クラブ	神戸新聞社
なかがわ かずこ 中川 一子	女性活躍ネットワーク会議	会員
やまだ きょうこ 山田 響子	公募委員	
よこた きょうご 横田 京悟	たつの市社会福祉協議会	会長

計12名

◎は会長、○は副会長

《たつの市》

家氏 孝幸	企画財政部長	
眞殿 幸寛	上下水道部長	
小林 雄二	上下水道部参事兼下水道管理課長	
杉本 典彦	企画財政部企画課長	
神尾 尚武	企画財政部財政課長	
皆木 亮祐	企画財政部財政課主幹	
安原 洋平	上下水道部下水道管理課副主幹	
浜松 悠輔	企画財政部企画課係長	

令和5年度第1回たつの市行政改革推進委員会意見に係る取組状況について

資料1

No.	行革取組項目	行政改革推進委員からの意見	市(担当課)対応方針・取組状況
1	2. 戦略的広報の推進	『YouTube』について、現在、観光客向けに桜まつりや武者行列などのイベントの一部分だけが大きまかに紹介されている動画が紹介されているが、市として推していきたいイベント・観光スポットに特化した動画を発信した方が受け手にとって分かりやすいのではないか。	今年度、本市で開催されたイベント等について、写真だけでなく、動画にも重点をおいて撮影しました。 今後、画像編集した上で、市公式 YouTube への投稿を実施していきます。 また、今年度から、SNS(インスタグラムやフェイスブック)の動画機能を活用し、市民まつり等のリアル配信やイベント告知をイベントごとに投稿し、受け手に見ていただけるよう発信しました。 〔参考：動画機能やリアルタイム配信(ストーリー)機能を使用した投稿数(インスタグラム)56件〕
2	2. 戦略的広報の推進	『Instagram』は、若者だけでなく、幅広い年代の方が使用している。例えば、公募の形で市民等から幅広く情報を募集し、様々な角度から「たつの市の魅力」のPRすることはできないか。様々な年代から市民等のおすそめを聞き、市民等と一緒に考えて情報発信していただければ良いのではないか。 また、SNSにおいて、ライブカメラでの期間限定配信を実施してはどうか。	来年度の取組として、より効果的に情報を発信するため、SNSにおける発信力が高い者(外部)を活用し、本市の魅力をPRする予定です。 SNSライブカメラでの期間限定の配信に関しては、肖像権への配慮を考え、配信できるイベント(花火大会など)を慎重に検討していきます。

3 2. 戦略的広報の
推進

市政情報の発信について、『広報誌』は多くの情報が得られる一方、気軽に読みたいと思いきい部分がある。市民が考えるきっかけとなるような広報、情報発信、また、専門用語を出来る限り使用せず、堅苦しくしない形での情報発信となるようお願いしたい。

広報誌を幅広い世代に気軽に手にとっていただけよ
う、広報たつの8月10日号（令和5年度）から表紙デザ
インをリニューアルしました。

広報たつの11月10日号では、全国京都会議開催時に
市観光協会がインスタグラムで実施した「龍野 de フォト
コンテスト」と連携し、グランプリ作品を表紙写真に掲
載しました。

また、市議会においても、議会だより7月25日号（令
和5年度）から表紙デザインをリニューアルされ、見や
すくわかりやすい紙面づくりに取り組まれています。



【リニューアル前】
広報たつの（R4.12.10号）



【リニューアル後】
広報たつの（R5.12.10号）

「龍野 de フォトコンテスト」開催報告
（R5.11.10号）

たつの
広報

11
2023.11.10
No.435



広報たつの（R5.11.10号）
「龍野 de フォトコンテスト」
グランプリ作品を表紙に掲載

4	18. 自主財源の確保	<p>①今後、人口減少・少子高齢化が進行し、扶助費が増える見込みがある中で、歳入確保が行財政改革で重要だと考える。</p> <p>②市税や地方交付税以外の財源確保について、「ネーミングライツ」や「クラウドファンディング」の実施を考えてみてはどうか。市民と一緒にやっていくことでシビックプライドの醸成にもつながるのではないか。</p>	<p>①持続可能な自治体経営を着実に推進することが求められる中、受益者負担の適正化を図るため、令和7年4月から使用料及び手数料等を改定する方針を決定しました。【議事（3）資料3・資料4参照】</p> <p>〔料金改定の項目案〕</p> <p>〔 ・公共施設利用に関する使用料等 ・下水道使用料 〕</p> <p>②「ネーミングライツ」や「クラウドファンディング」については、庁内関係課間で今後の実施に向け調整・検討していきます。</p>
---	-------------	--	---

令和5年度の行財政改革の取組状況について

1 自治体 DX の推進に向けた取組

『たつの市デジタル・トランスフォーメーション推進基本方針（TDX）』に基づき、デジタル技術を活用した質の高い市民サービスを提供し、市民の利便性向上と業務の効率化を図りました。

①「書かない窓口サービス」を提供する手続総合案内を開設

今年度から、「本庁玄関ホールに手続総合案内」、「本庁（国保医療年金課）と各総合支所におくやみ相談窓口」を開設し、手続の案内と申請書の作成をサポートするサービスを開始しました。職員が必要な手続を案内し、申請書の記入も不要になることで、手続時間が短縮できます。また、自宅などからスマートフォン等で、事前に申請書を作成することが可能になりました。

書かない窓口について

市役所に



来庁

スマホ等で



事前申請

必要な申請書を



システムで作成

手続総合案内

- 💡 必要な手続の案内
- 💡 各種証明書の申請書作成（住民異動届・住民票の写し等交付申請書・印鑑登録証明書交付申請書・戸籍謄抄本等交付申請書・税務証明書等交付申請書）



おくやみ相談窓口

- 💡 遺族の方への必要な手続の案内
- 💡 各種申請書の作成
- ※令和5年4月から国保医療年金課と各総合支所で開設しています。



②行政手続きのオンライン化

国が構築した電子申請システム（ぴったりサービス）や兵庫県と県内市町が共同運営する電子申請システム（兵庫県電子申請共同運営システム）を利用し、各種手続きのオンライン化を進めました。

〔オンライン申請を導入した主な手続き〕

- ・ふるさと応援商品券申込（オンライン申請件数 7,476 件（全体の約 58%）
- ・オープン保育（わくわく体験）の申込
（オンライン申請による参加人数 328 人（全体の約 63%）
- ・たつの市消防団活動報酬に係る報告（オンライン報告件数 2,007 件（全体の 100%））
- ・栗栖川に架かる橋（龍北橋）の名称募集（オンライン申請件数 135 件（全体の約 36%））など

③スマートフォン（スマホ）体験講座の実施

オンラインによる行政手続やマイナンバーを活用した各種サービスの利用促進を図るため、体験講座を実施しました。

令和6年度についても、民間事業者と連携した講座等を実施する予定です。

〔体験講座概要〕

- 対象者 主に65歳以上の市民（スマホにあまり触れたことがない方等）
- 内容 スマホの使い方、スマホの機能紹介、電子申請体験、LINEの利用方法、QRコードの読取方法 など
- 実施日数 16日（46コマ）
- 参加人数 161名



【TDXロゴマーク】



TDX ロゴマーク

本市のデジタル化の取組を市民の方に一目で認識していただくため、本ロゴマークを作成しました。

今後、全職員が一丸となって、デジタルを活用した市民サービスを提供していきます。

④ご近所デジタルマイスター養成講座受講

家族や職場、地域で高齢者と接する機会が多い方等を対象に、スマホの使い方を分かりやすく教えるコツが学べる講座を開催し、受講者28名を『たつの市ご近所デジタルマイスター』として認定しました。

また、認定者の実践の場として、実践相談会を設け、地域でのデジタル普及活動等に取り組んでいただきました。

令和6年度についても、『ご近所デジタルマイスター』が実施するスマホ相談会や市のスマホアプリ等を広げる活動を支援し、デジタルツールをうまく使いこなせない方への対策を講じていく予定です。



ご近所デジタルマイスター実践相談会

●令和6年度の取組（予定）

①デジタル母子健康手帳の導入

妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援の強化を図るため、デジタル母子健康手帳を導入します。

〔主な機能〕

- ・ 予防接種のスケジュール
- ・ 妊娠週数や子どもの月齢に合った健診実施日などの行政サービス情報をセグメント配信
- ・ 健診や写真による子どもの発達状況の記録 など

②行政事務の根幹となる「文書管理システム」を導入（令和7年度供用開始）

公文書のデジタル化を図るため、文書管理のデジタル化、決裁の電子化を行うための「文書管理システム」を導入します。

〔主な導入効果〕

- ・ 情報管理、透明性の確保（文書の紛失や誤廃棄防止、文書改ざん防止）
- ・ 事務の効率化（電子決裁による意思決定の迅速化、他システムとの連携による事務効率化）
- ・ サービス基盤の構築（行政手続きの電子化を促進）
- ・ コスト削減（電子決裁によるペーパーレス化の推進、ファイリング資材等の削減）

③「議事録作成システム」に生成AI（チャットGPT）による要約機能を追加

④「公共施設予約システム（県・県内市町）」の共同運用を開始（令和6年4月～）

- ・ 体育施設や公民館等の26施設に予約システムを導入し、施設予約状況を管理
- ・ オンライン予約や支払い等の機能については、今後検討の上、段階的に運用開始

2 地方独立行政法人たつの市民病院機構の経営状況

(1) 病院事業の経営状況

● 経常収支

令和5年度経常収支（令和5年4～12月）

+64,061千円

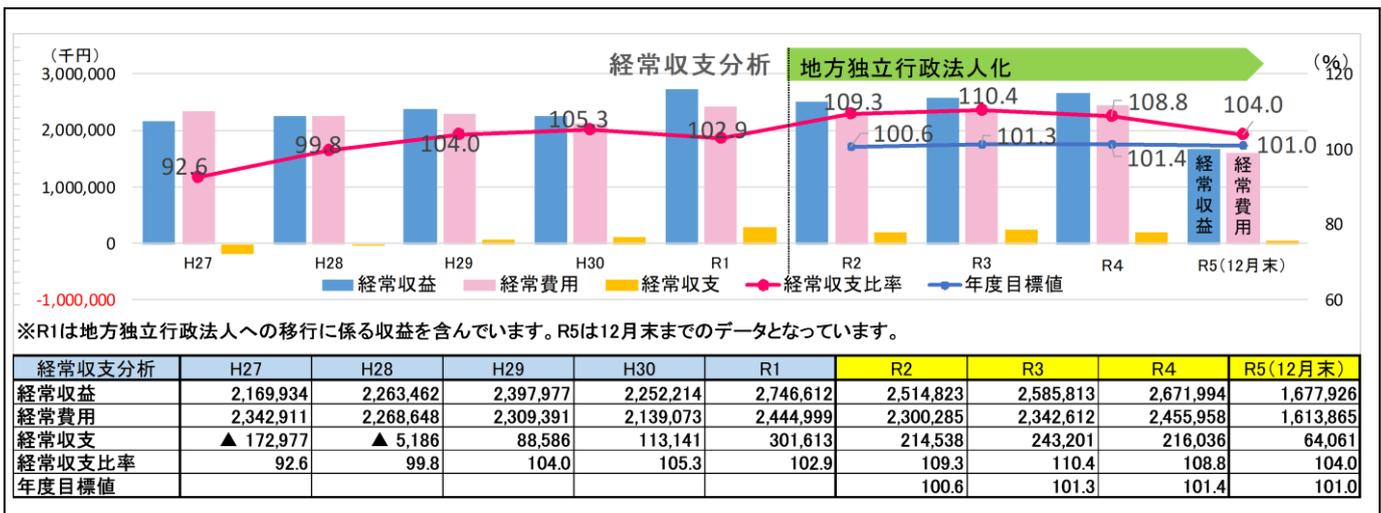
令和5年度経常収支比率

104.0%（令和5事業年度目標値 101.0%）

第1期経常収支累計（令和2年4月～令和5年12月）

+737,836千円（中期計画目標値 91,000千円）

(+646,836千円)



● 第1期中期目標期間（R2～5）の業績評価

- ・地方独立行政法人としての基礎的な組織体制を構築し、地域で必要とされる医療提供と長期的かつ安定的な経営に取り組んでいる。
- ・新型コロナウイルス感染症対応について、公的医療機関としての使命を果たしている。



● 令和6年度以降の経営形態

地方独立行政法人の形態で継続を決定

➡ 第2期（R6～9）について、第1期の業績評価を踏まえつつ、国が求める公立病院経営強化プランに対応した、中期目標及び中期計画を策定

（※中期目標は12月議会で可決。中期計画は3月議会へ上程した上で、認可予定）

(2) 令和5年度の主な取り組み

①介護老人保健施設「ケアホームみつ」の事業廃止

ケアホームみつについては、令和2年4月の地方独立行政法人移行前から赤字経営が続いており、令和5年4月からの休止を実施していましたが、市内介護老人保健施設の状況、施設規模、老朽化対策、需給バランスなど事業を取り巻く厳しい状況を勘案し、事業廃止します。(12月議会で可決)

- 廃止施設 介護老人保健施設ケアホームみつ (定員29名)
- 廃止時期 令和6年3月31日 (※令和5年度は休止)
- 経営状況 収支 △ 73,151千円 (令和4年度決算)

② 感染症に対する対応

令和5年5月からの新型コロナウイルス感染症の5類移行後においても、引き続き入院病床の確保や新型コロナウイルスワクチン接種等の公立病院として求められている新型コロナウイルス感染症に対する医療を提供しました。

- 入院受入患者 97名 (令和5年4～12月)
- 新型コロナウイルスワクチン接種件数 2,857件 (令和5年4～12月)

③ 新興感染症に係る医療措置協定の締結

新型コロナウイルス感染症をはじめとした新興感染症の発生・まん延時に、兵庫県の要請を受け、感染患者へ医療サービスを提供するため、兵庫県と「医療措置協定」を締結します。

- 協定日 令和6年4月1日 (予定)
- 内容 入院病床の確保、発熱外来の実施、自宅療養者等への医療サービス提供

3 公共施設等の適正管理に向けた取組

(1) 未利用財産の活用

本市の公有財産のうち、未利用財産（用途廃止された建物及び土地）について、活用や処分を進めるため、民間への売払い等を行いました。

〔令和5年度の取組〕

- ・旧揖西西保育所を売払い
- ・旧御津学校給食センターを売払い（現在手続き中）
- ・旧県営鷺崎住宅跡地（市有地）の周辺道路を整備（住宅用地（6戸）として、令和6年度に売払い予定）

(2) 学校の適正規模・適正配置

- ・良好な教育環境を確保するため、「たつの市立小・中学校の適正規模・適正配置基本方針」に基づき、関係者が議論を重ね、今後の学校の在り方を検討しています。
- ・新宮地域では、令和10年度の小中一貫校の開校に向け、令和5年7月に「たつの市新宮地域小中一貫校建設基本計画」を策定しました。

〔新宮地域小中一貫校に関する取組〕

【令和5年度】

- ・各校区における説明会
- ・たつの市新宮地域小中一貫校建設基本計画の策定
- ・たつの市新宮地域小中一貫校に係る基本設計の策定
- ・たつの市新宮地域小中一貫校開校準備委員会の設置、開催

【令和6年度（予定）】

- ・たつの市新宮地域小中一貫校に係る実施設計の策定
 - ・たつの市新宮地域小中一貫校開校準備委員会の開催
- ※廃校となる学校施設の利活用方策の検討



新宮地域小中一貫校の配置イメージ図

(たつの市新宮地域小中一貫校建設基本計画より抜粋)

4 自主財源の確保

(1) ふるさと応援寄附金

〔令和5年度の実績（R6.1末時点）〕

・ 寄附額	450,592千円	(前年同月比+123%)
・ 寄附件数	30,323件	(前年同月比+115%)
・ 返礼品数	482品	(R5.3末 466品)

〔令和5年度の取組〕

● 寄附金獲得及び本市の知名度と魅力発信の取組

「ふるさと感謝便」の画像やふるさと納税ポータルサイトの内容更新を行い、寄附者の目に留まりやすいサイト作りを行いました。

(※返礼品の画像更新数：120品、令和6年度も引き続き実施予定)

<更新前>



<更新後>



【更新のポイント】

- ① 返礼品の魅力を向上させる質の高い写真を撮影
- ② 商品名や内容量、アピールポイント等を文字やロゴで装飾
- ③ 画像で伝えきれない部分は、生産・開発エピソード等を紹介文にして掲載

● 経費削減及び業務効率化の取組

令和5年10月からふるさと納税制度の運用基準が変更となり、募集経費の総額が5割以下であることが求められることになりました。

本市では、返礼品の配送業務を一括委託し、配送業務を一元化することで、経費削減と協力事業者の負担軽減を図りました。

(2) 企業版ふるさと納税

〔令和5年度の実績（R5.1時点）〕

- ・ 寄附申出額 6,300千円（R4実績 6,400千円）
- ・ 寄附申出件数 20件（うち、新規寄附申出件数3件）（R4実績 20件）

〔寄附申出企業名（五十音順）〕

アスノ、一宮電機、伊藤喜商事、北山工商、クミアイ化学工業、佐藤精機、三相電機、ジェイシーシー、SibaService、ジャバラ、清交倶楽部、ダイセル、タキロンシーアイ、ナガセケムテックス、ビーエイチエヌ、兵庫西農業協同組合、フジプレミアム、ホームセンターアグロ、マルアイ、レゾナック・ホールディングス（旧昭和電工）

〔令和5年度の取組〕

- ・ 企業版ふるさと納税マッチングサポート事業者を通じ、寄附を希望する企業とのマッチング（働きかけ）を行い、課題解決に向けた企業連携の構築や更なる寄附金獲得を目指しました。

（令和5年度実績（見込） 1,200千円

3件（うち、新規寄附申出件数 2件）

5 たつの未来基金の活用

未来のまちづくりに資する事業を展開し、持続可能な地域社会の実現を図るため、令和4年3月に「たつの未来基金」を設置しました。

市民や市内事業者等からの一般寄附のうち、基金の趣旨に沿う寄附金及び基金により生じた利子を積み立て、次の未来のまちづくりに資する事業に活用しています。

〔活用事業〕

〔令和5年度寄附受入実績〕

- (1) 未知なる感染症に対応する事業
- (2) 地域経済の再活性化に要する事業
- (3) 人口還流の促進に要する事業

1,600千円(3件)

〔令和5年度活用事業〕

- ・若者定住促進奨学金返還支援事業
(市内に定住する意思を持つ若者の奨学金返還に対する費用の一部を助成)
- ・GIGAスクール構想促進事業
(授業のデジタル化を推進するため、小学校に電子黒板を導入)
- ・ことばの力育成事業
(令和4年度に導入した新聞作成アプリ(小学生タブレット端末)の活用を拡大)
- ・通学支援事業
(小学生の熱中症対策として、汗吸収背あてパッド(保冷剤付き)配布、冷凍庫配備)
- ・未来を創る芸術文化育成事業
(発表機会の少ない中学校文化部を育成するため、市内での発表会を開催)



汗吸収背あてパッド(保冷剤付き)
及び冷凍庫

未来を創る芸術文化育成事業